

オプトラン（6235） 20/12Q3 決算説明、個人説明会メモ アウトパフォーム継続

20/12 期は 13.6%減収 13.6%営業減予想も 21/12 期は 5G 向けや新製品寄与で収益上伸へ

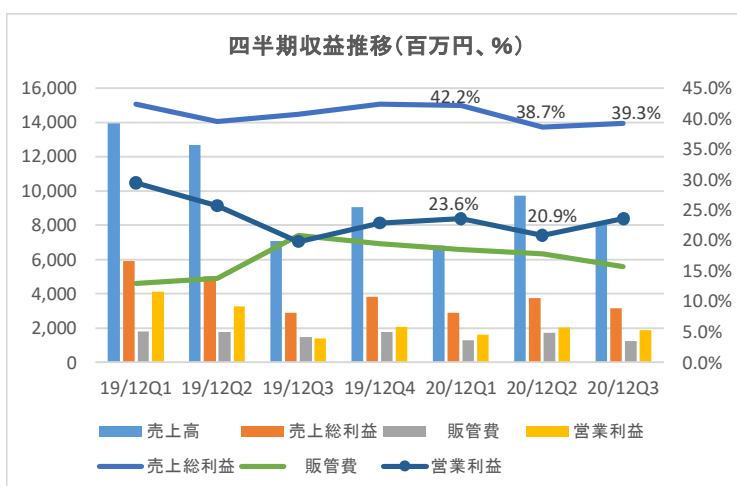
株価 2141 円（12/23） 時価総額 950 億円 発行済株 44358 千株
 PER（20/12DO 予：13.6X） PBR（2.51X） 配当（20/12 会予） 50 円 配当利回り：2.34%

要約

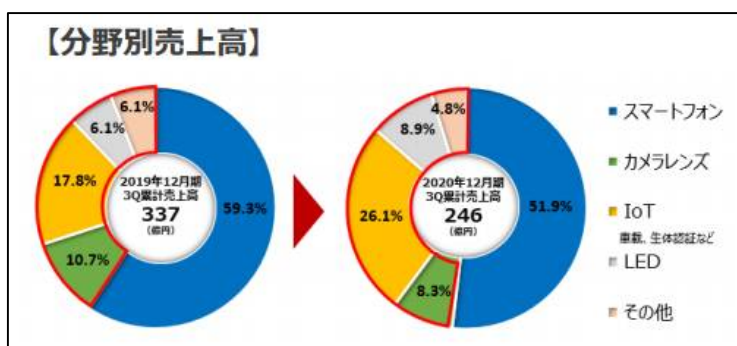
- ・ 20/12Q3 累計はコロナ、米中摩擦激化で 27.0%減収 36.9%営業減と低迷も受注は 5.8%増
- ・ 20/12 期予想（9/25 減額）に変更無く、13.6%減収、13.6%営業減予想で Q4 も回復続く
- ・ 21/12 期は 5G スマホに加え新製品群の収益寄与本格化で収益上伸期待
- ・ 株価は再減額修正懸念も限定的とみて押し目買い、中期的には機械平均 PER 水準 3560 円

20/12Q3 累計はコロナ、米中摩擦激化で 27.0%減収 36.9%営業減と低迷も受注は 5.8%増

20/12Q3 累計は、売上高 246.48 億円（27.0%減）、営業利益 55.51 億円（36.9%減）ながら受注は 232.42 億円（5.8%）とコロナ、米中摩擦激化などで収益低迷も、受注面ではアップル向け大型受注獲得もあり明るさが。実際 Q3 だけでは売上高 80.58 億円（13.9%増）、営業利益 19.0 億円（35.1%増）、受注 43.65 億円（9.8%増）、受注残 310.62 億円（13.2%増）と急速に回復基調にある。



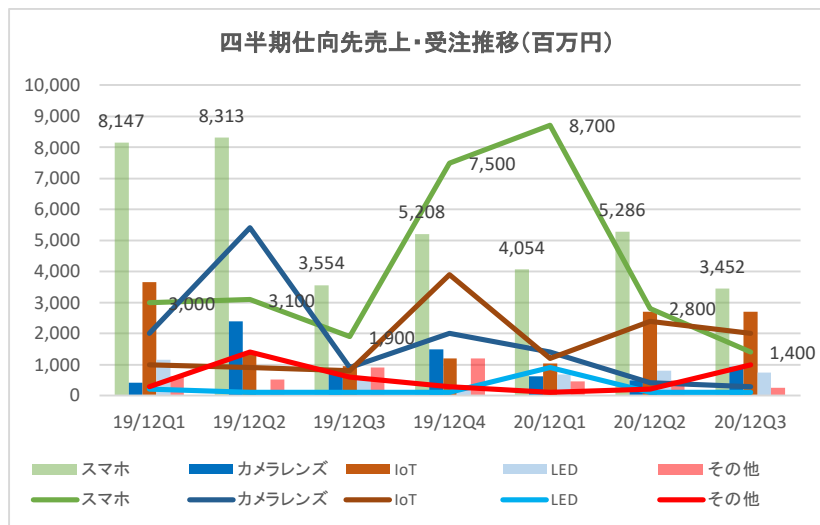
Q3 分野別売上ではスマホ向けが 34.5 億円（3%減）と伸び悩むも、IOT 関連が 27 億円（2.9 倍）と伸長、LED 向けも 7.3 億円（41%増）に。また新製品群では ALD 装置や 5G 向け新型光通信装置等の新製品群が売上高 19 億円



（90%増）と伸長した。受注面ではスマホ向けが Q1 でのアップルなどの大口が無く 14 億円（26%減）、カメラレンズ向けも 3 億円（66%減）とコロナ影響もあり不振だったものの、

IoT 向け（光通信、半導体、医療用、自動車向け）が 20 億円（2.5 倍）と大きく寄与、新製品受注など、コロナ下で受注増となった事は注目できる。

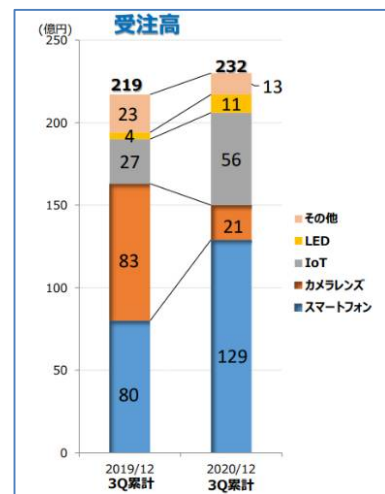
利益面では下期に採算の高いスパッタ装置のウエイトが高まっていること、蒸着装置も



コスト改善が進んでいる等で総利益率が 39.3%と高水準を確保、販管費が上期に研究開発費の前倒しなどがあり 2.09 億円減となり、営業利益率が 3.7 ポイント改善し 23.6%まで向上した。なお、新製品群の受注比率は 35%に達している。

20/12 期予想 (9/25 減額) に変更無く、13.6%減収、13.6%営利減予想で Q4 も回復続く

Q3 を踏まえ、9/25 に減額修正した今期予想を変更せず、売上高 370 億円（13.6%減）、営利 94 億円（13.6%減）を据え置いた。逆算し、Q4 は 36.2%増収、85.3%営利増予想となる。Q3 受注が好調であったこと、Q3 での受注残が 310.62 億円と豊富で、BS の仕掛品も 122.37 億円（前期末比 10.2%増）などから、会社側では努力が必要も、達成可能としている。現状、ファーウェー排除の分の争奪戦、5G 端末開発の加速、車載センサ需要の拡大など、加えて新製品の受注があり、受注の拡大が続こう。但し売上面では売上計上基準がユーザーの検収後となっているため、アップルなど他社よりも検収条件が厳しいことは会社側でも認め

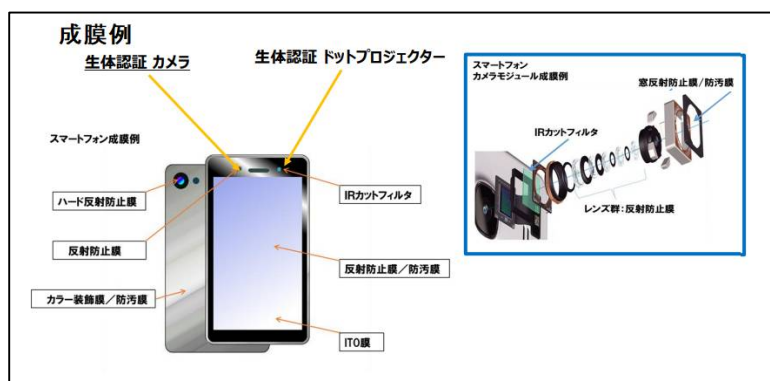


ており、コロナ感染拡大の中で新型装置については多少の遅延も発生すると判断、売上高の未達が見込まれる。但し、コストコントロールが徹底して行われており、売上減額でも総利益率の確保、販管費の削減で利益の減額は最小限に止まるとみられる。

21/12 期は 5G スマホに加え新製品群の収益寄与本格化で収益上伸期待

21/12 期は 5G 端末の本格普及でスマホ向けは高機能化が着実に拡大、特にアップル向けではミリ波対応、複眼化（望遠、広角、超広角など 3 眼化）、レンズの多層化（4 枚構成が 6~7 枚構成など）、さらに UWB（超広帯域）、LiDAR スキャナ（AR 対応）などが標準装備される見通し。中国スマホも同様に筐体のガラス化などでコーティングニーズが高まり、

スパッタ、蒸着装置いずれも需要が高まろう。また車載、監視カメラ需要なども3次元 LiDAR などの高性能化、高精度化でコーティングニーズが急拡大しよう。加えて今期低迷している LED 向けは、次世代ディスプレイ技術のマイクロ LED、ミニ LED など再度需要が高まろう。2021年に米 Vuzix 社がマイクロ LED を使った AR グラスを発売予定で、1 インチ前後のモノシリック型マイクロ LED が搭載される見通しにある。2022年にはアップルもアップルグラスを投入する話もあり、同社のミニ LED 用蒸着装置は開発用から量産向けにも受注が拡大しよう。また VR、AR グラス用やフラッシュライト用レンズ生産などに向け、台湾大手レンズメーカーの GSEO や Largan なども設備増強を打ち出すなど、新市場拡大も追い風となろう。なお光学成膜に ALD 原子レベル積層技術を取り入れた世界初の ALD 装置は



	(1)OTFC	(2)Gener	(3)SPOC	(4)RPD	(5)NSC	(6)OWLS	(7)ALDER
主な用途例	スマートフォン(カメラモジュール) ・監視カメラ ・医療用機器	・スマートフォン(タッチパネル) ・カメラレンズ	・光通信	・LED ・Mini / Micro LED	・スマートフォン(加飾・生体認証) ・車載	・半導体 ・スマートウォッチ	・Mini/Micro LED ・広角レンズ ・AR/VR
成膜方式	イオンビームアシスト蒸着			リアティブプラズマ	スパッタリング		ALD 原子層積層
成膜面	平面 3D曲面	平面 3D曲面	平面	平面	平面 3D曲面	平面 両面 3D曲面	平面 3D形状全面
膜種例	AR AS 波長選択フィルタ LPF SPF IR Cut BPF LED DBR 装飾膜	AR AS 波長選択フィルタ 装飾膜	超多層膜 波長選択フィルタ DWDM NBPF CWDM NBPF	LED ITO LED Buffer	硬質 AR AS 波長選択フィルタ LPF SPF BPF 装飾膜	硬質 AR AS 波長選択フィルタ LPF SPF BPF 装飾膜	AR 保護膜

新型装置の開発・受注・売上

光通信向け蒸着装置 (SPOC)

弊社は 1999 年の設立直後に、光通信多重伝送用に世界最高水準の光学フィルター成膜を可能とする装置の開発に成功し、販売今回、全面的な設計・性能見直しを行い、5G で求められる高性能光学薄膜の量産を可能とし、複数社より受注を獲得し、売上計上も開始。



ALD 装置

光学成膜にALD 原子レベル積層技術 (原子層積層法) を取り入れ、新しい成膜技術可能性を追求した、世界初の装置。スマートフォン等の広角レンズや、複雑な表面の、ミニ LED・マイクロ LED等の成膜での利用が期待されている。既に複数社より受注を獲得。



医療用 X 線 FPD シンチレータ真空成膜装置

弊社は、X 線 FPD (Flat Panel Detector) 用のシンチレータへ CsI 膜成膜を行う用途の従来装置を大幅に刷新し、高画質化、低線量化、大量生産に適した装置を完成し、受注・売上が本格化。



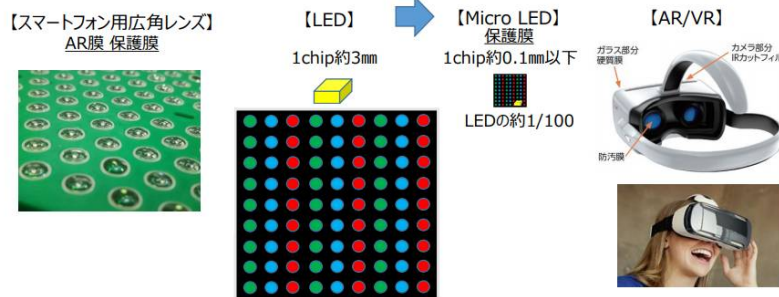
両面スパッタ装置 (OWLS)

基板成膜面が上向き・下向き・両面同時の 3 種類の成膜方式に対して、1 台の装置で対応可能。車載センサー、電子部品、光学部品等での利用が期待されている。複数社より受注を獲得し、売上計上も開始。



ALDERの成膜例

スマートフォン用広角レンズ、Mini/Micro LED、AR/VR等に利用可能



2020年8月に受注獲得に成功、レンズ曲面や3D構造物などの複雑な表面に均一、超薄膜、低温成膜が可能な装置で、高倍率光学ズーム撮影に必要な超広角レンズに代表される曲面の厳しいレンズ表面の成膜には欠かせない。今後、ミニLEDやマイクロLED向け保護膜などでも受注拡大が見込める。その他、半導体ウエハにレンズを直接成膜する半導体融合装置、光通信用DWDM真空成膜装置など、21/12期は新製品群の刈り取り期に入り、収益上伸が期待される。

株価は再減額修正懸念も限定的とみて押し目買い、中期的には機械平均PER水準3560円

株価はコロナウイルス影響に加え、米中摩擦激化により主力ユーザーのスマホ開発の混乱などで全体として不確実性が高まり、株価は下方トレンドで推移してきた。修正予想EPS166円に対、PER13倍は割高とは言えず、さらに減額となっても利益減額修正は限定的と判断する。当面、米中摩擦で株価の上昇も限定的とみられるが、20/12期DO予想EPS157円に対し、機械平均PER22.7倍にあたる3560円をターゲットに再度、株価の上昇が期待される。

オプトラン(6235)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
18/12期	44,763	34.1%	10,690	45.9%	10,992	54.9%	7,745	60.9%	187.64	55.00
19/12Q1	13,975	30.5%	4,126	26.4%	4,110	20.0%	3,605	51.4%	86.62	0.00
19/12Q2	12,702	14.4%	3,270	51.2%	3,152	37.5%	2,389	50.2%	56.90	0.00
19/12Q3	7,074	-56.4%	1,406	-71.8%	1,886	-45.0%	1,475	-62.9%	35.13	0.00
19/12Q4	9,071	34.9%	2,077	658.0%	1,883	2.1%	1,632	黒転	38.04	60.00
19/12H1	26,677	22.3%	7,396	36.3%	7,262	27.0%	5,994	50.9%	143.52	0.00
19/12H2	16,145	-29.7%	3,483	-33.8%	3,769	-28.5%	3,107	-17.7%	73.17	60.00
19/12期	42,822	-4.3%	10,879	1.8%	11,031	0.3%	9,101	17.5%	216.69	60.00
20/12Q1	6,837	-51.1%	1,615	-60.9%	1,816	-55.8%	1,445	-59.9%	33.99	0.00
20/12Q2	9,753	-23.2%	2,037	-37.7%	2,136	-32.2%	1,439	-39.8%	33.70	0.00
20/12Q3	8,058	13.9%	1,900	35.1%	1,698	-10.0%	1,362	-7.7%	31.81	0.00
20/12Q4会予(11/10)	12,352	36.2%	3,848	85.3%	4,050	115.1%	2,854	74.9%	67.14	50.00
20/12H1	16,590	-37.8%	3,652	-50.6%	3,952	-45.6%	2,884	-51.9%	67.69	0.00
20/12H2会予(8/6)	29,610	83.4%	8,348	139.7%	8,048	113.5%	6,316	103.3%	149.25	60.00
20/12H2修正会予(9/25)	20,410	26.4%	5,748	65.0%	5,748	52.5%	4,216	35.7%	98.95	50.00
20/12期期初会予	46,200	7.9%	12,000	10.3%	12,000	8.8%	9,200	1.1%	216.94	60.00
20/12期修正会予(9/25)	37,000	-13.8%	9,400	-13.8%	9,700	-12.1%	7,100	-22.0%	166.64	50.00
20/12Q4DO予	11,352	25.1%	3,348	61.2%	3,550	88.5%	2,454	50.4%	57.75	50.00
20/12H2DO予	19,410	20.2%	5,248	50.7%	5,248	39.2%	3,816	22.8%	89.56	50.00
20/12期DO予	36,000	-13.8%	8,900	-13.8%	9,200	-12.1%	6,700	-22.0%	157.25	50.00
21/12DO予	47,500	31.9%	12300	38.2%	12300	33.7%	9400	40.3%	220.62	60.00

年度	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 DO予	21/12期 DO予
売上高	44,763	42,822	46,200	37,000	36,000	47,500
売上原価	27,327	25,125	27,200	21,990	21,600	28,000
売上総利益	17,436	17,697	19,000	15,010	14,400	19,500
販管費	6,746	6,818	7,000	5,610	5,500	7,200
営業利益	10,690	10,879	12,000	9,400	8,900	12,300
経常利益	10,993	11,031	1,200	9,700	9,200	12,300
親株主帰属純利益	7,746	9,102	9,200	7,100	6,700	9,400
セグメント売上情報年度	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 DO予	21/12期 DO予
スマホ	21,218	25,222	26,500		22,000	26,000
カメラレンズ	7,923	5,096	6,000		2,000	5,000
IoT	10,072	7,194	8,000		7,000	9,500
LED	2,641	2,055	2,200		2,000	3,000
その他	2,954	3,254	3,500		3,000	4,000
合計	44,763	42,822	46,200	37,000	36,000	47,500
セグメント受注	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 DO予	21/12期 DO予
受注合計	39,821	36,062	46,200		40,000	48,500
セグメント受注残	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 DO予	21/12期 DO予
受注残合計	39,228	32,468	32,468		36,468	37,468
年度	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 DO予	21/12期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	61.0%	58.7%	58.9%	59.4%	60.0%	58.9%
売上総利益	39.0%	41.3%	41.1%	40.6%	40.0%	41.1%
販管費	15.1%	15.9%	15.2%	15.2%	15.3%	15.2%
営業利益	23.9%	25.4%	26.0%	25.4%	24.7%	25.9%
経常利益	24.6%	25.8%	2.6%	26.2%	25.6%	25.9%
親株主帰属純利益	17.3%	21.3%	19.9%	19.2%	18.6%	19.8%

